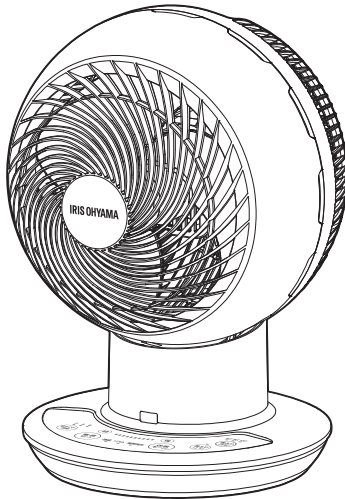


サーキュレーターアイ

PCF-SDC18T

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
設置	7
各部の名称	8
リモコン	9

取り扱いかた

使いかた	10
お手入れ	14

こんなときには

保管のしかた	15
故障かな?と思ったら	15
長期使用製品について	17
仕様	18
保証とアフターサービス	19
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



分解禁止

● 分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。

修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



水ぬれ禁止

● 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない

● 本体を水につけたり、本体に水をかけない

火災・感電の原因になります。



● 異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 運転中時々止まる
 - 触れるとピリピリ電気を感じる
- ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。

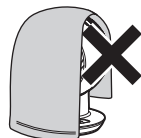


- 交流100V以外では使わない
火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードをたばねて使用しない
火災の原因になります。電源コードは必ずのばして使用してください。
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因になります。

安全上の注意 つづき



- 屋外では使用しない
- 風の流れをさえぎるようなものの周囲で使用しない
- 布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない
- ほこり、粉塵の多い場所で使用しない
故障してショートや火災の原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤・整髪料・潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない
火災の原因になります。



- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生する内容を示しています。



- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
けがや感電のおそれがあります。



- 引きずって移動しない
畳・床に傷がつきます。



- 羽根や前面ガードを取り付けずに運転しない
けが・感電・火災の原因になります。



- 水平で安定した床の上で使用する
不安定な場所で使用すると、転倒して、けがや周囲の物品の破損の原因になります。
- カーテンや巻き上げひもなどを巻き込まない場所へ設置する
周囲の物品の破損やけがの原因になります。



- 風を直接身体に当てない
扇風機ではありません。非常に強力な風を発生します。特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。
- 動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。



- 本体に強い衝撃を与えない
故障して、火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。

安全上の注意 つづき

リモコンの電池についての注意



- リモコンに電池を入れるときは、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



分解禁止

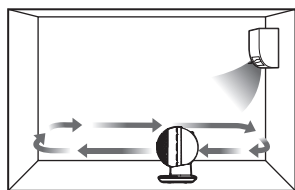
- 分解しない皮膚や衣服を損傷することがあります。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しないショートして液もれや破裂の原因になることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。
- 絶対に充電しない破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。

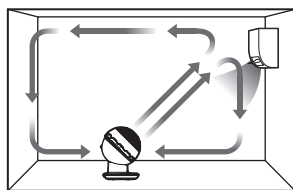
設置

障害物がなく、水平な、床やテーブルの上に置いてください。



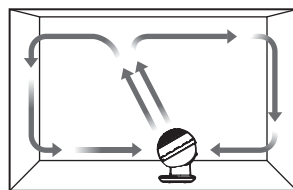
冷房使用時

エアコンを背にして、下にたまる冷たい空気を循環させると、気流ができて清涼感がアップします。



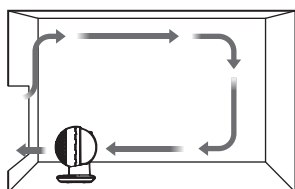
暖房使用時

部屋の角（エアコン）に風を送って、上にたまる暖かい空気を循環させ、足元を暖めます。



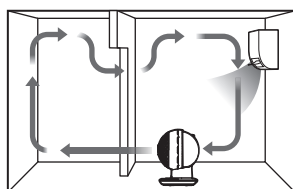
循環

天井に風を送って空気を循環させ、部屋の空気の温度むらを少なくします。



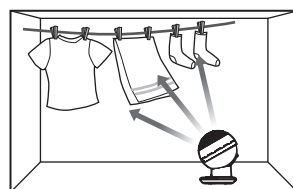
換気

屋外の空気を取り込んだり、屋内の空気を排出します。



二部屋循環

二間続きの部屋の空気を循環させます。



洗濯物乾燥

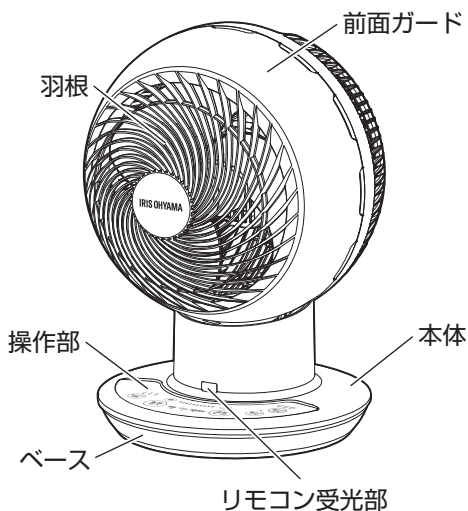
直接風を当てることで乾きが早くなります。

■ 設置についての注意

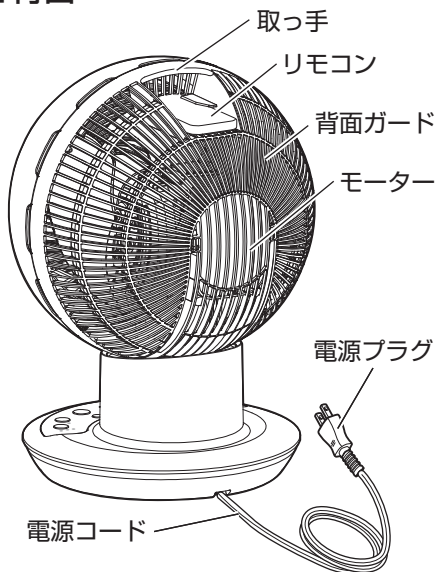
- 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。
変形・変色したり、誤動作したりすることがあります。
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

各部の名称

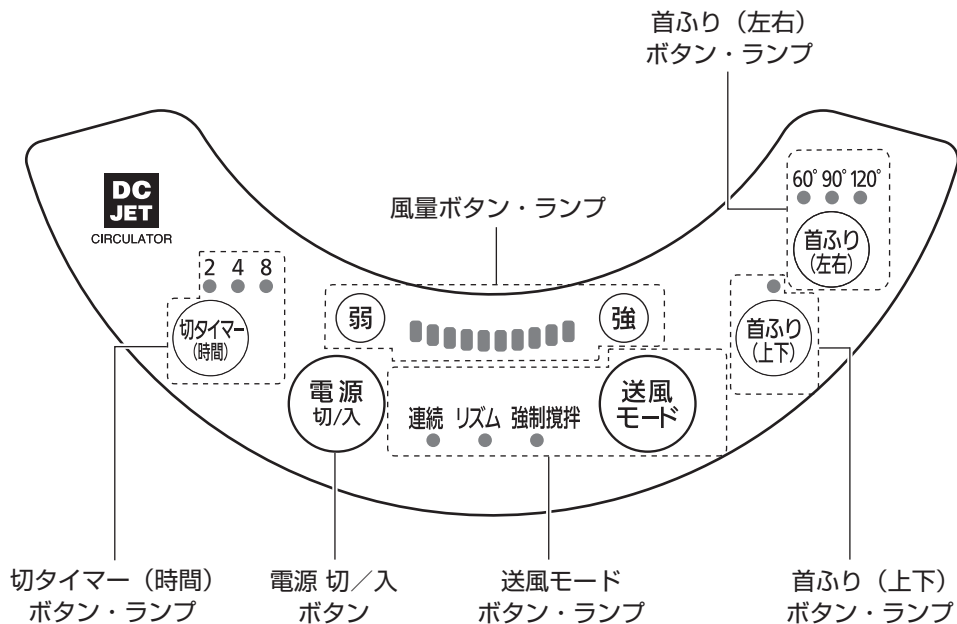
■ 正面



■ 背面



■ 操作部



リモコン

- ※ 使用開始前に電池の **保護シート** を引き抜いてください。
- ※ リモコンの赤外線発光部を、本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。

電源ボタン

前回使用したモードで運転が始まります。
運転中に押すと運転を停止し電源が切れます。

切タイマーボタン

切タイマーの時間を設定します。(→ P13)

風量ボタン

運転中にお好みの風量を選んでください。

連続モードは10段階、**リズムモード**は3段階に調節できます。

赤外線発光部

送風モードボタン

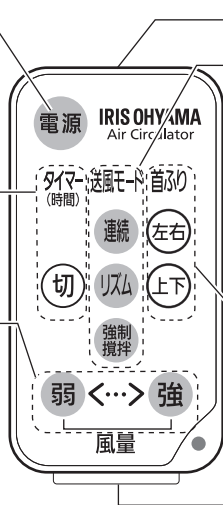
連続：風量ボタンで設定した風量で運転します。

リズム：強さを変化させて自然に近い風を再現します。

強制攪拌：自動的に左右首ふりになり、上下の角度は45°になります。

首ふりボタン

左右(60°・90°・120°・切)、上下(入・切)の首ふりを切り替えます。(→ P11)

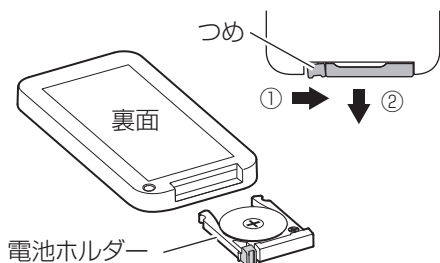


■ 電池の交換方法

操作範囲がせまくなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、新しい電池 (CR2025) に交換してください。

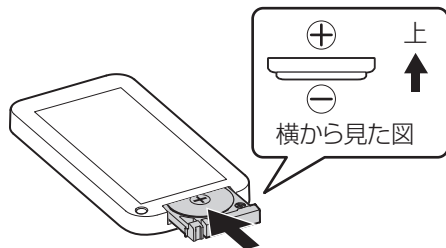
1 電池ホルダーを引き抜く

- つめを矢印方向へ押さえながら、引き抜いてください。



2 新しい電池をセットする

- 正しい向きにセットし、リモコン本体に差し込んでください。



- ※ 電池の表裏を間違えないでください。
- ※ 使い終わった電池は、電池のパッケージに記載された廃棄方法、またはお住まいの自治体の取り決めにしたがって廃棄してください。

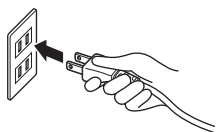


注意

- 電池を誤って取り扱うと、破裂・液もれ・やけど・周囲の汚損の原因になります。「電池についての注意」をよく読んで使用してください。

使いかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む



2 電源 切/入ボタンを押す

- 電源プラグを抜かないでおくと、前回使用した設定で運転が始まります。
- リモコンの電源ボタンでも操作できます。



3 お好みの設定を選ぶ

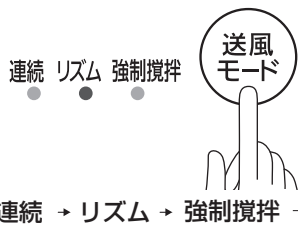
首ふり、送風モード、風量を設定してください。

首ふり

- 首ふり (上下) ボタン、首ふり (左右) ボタンで上下左右首ふりの設定ができます。(→P11)

送風モード

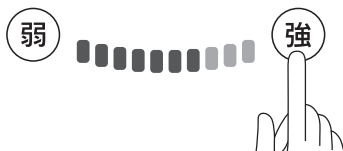
- 送風モードボタンを押すたびに、次のようにモードが切り替わります。(→P11)



- 各モードで選んだ風量や首ふりの設定はそれぞれ記憶され、モードを選び直しても、切り替える前と同じ設定で運転します。
- 電源プラグを抜くと、前回使用した設定はリセットされます。

風量

- 風量ボタンで風量を設定できます。強ボタンを押すと強くなり、弱ボタンを押すと弱くなります。
- 連続モード中、風量ボタンを長押しすると、風量は連続して変わります。



- 連続モードは10段階、リズムモードは3段階に調節できます。

■ 運転を停止するには

- 電源 切/入ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押してください。
- 電源が切れて、運転を停止します。



※ 電源を切ると正面を向いて停止します。

■ 首ふり

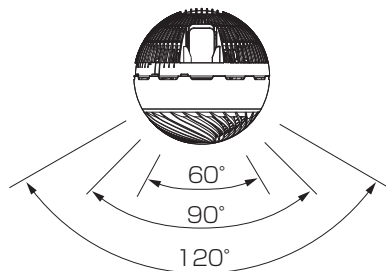
首ふり (左右)

- 首ふり (左右) ボタンを押すたびに、次のようにランプが点灯して、左右に首ふりします。

60° 90° 120°



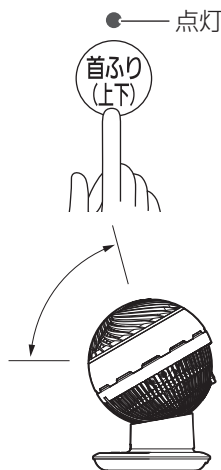
60° → 90° → 120°
消灯 (首ふり停止)



- 手で左右の角度を変えることはできません。必ず首ふり (左右) ボタンで、首ふり→停止 の操作をして角度を変えてください。

首ふり (上下)

- 首ふり (上下) ボタンを押すたびに入/切が切り替わります。入にすると、ランプが点灯します。



■ 送風モード

連続モード

連続モードとは、風量ボタンで設定した風量で運転するモードです。

リズムモード

リズムモードとは、強さを変化させて自然に近い風を再現するモードです。

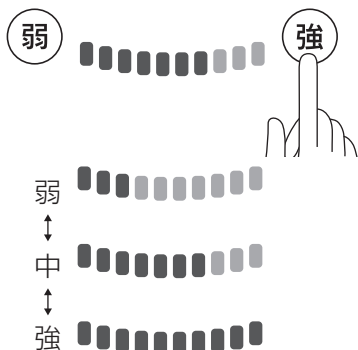
- 送風モードボタンで、リズムを選んでください。



つづく →

使いかた つづき

- リズムモードでは、風量ボタンで、強さを3段階に調節することができます。それぞれの強さで、ランプが次のように点灯します。



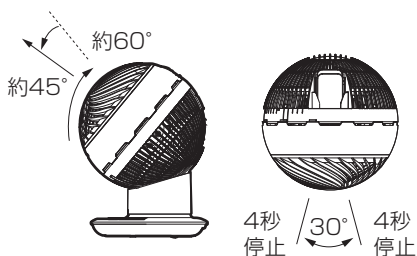
強制攪拌モード

強制攪拌モードとは、部屋の空気をかくはんし、温度差を少なくするモードです。

- 送風モードボタンで強制攪拌を選ぶ
かリモコンの強制攪拌ボタンを押してください。



- 強制攪拌ボタンを押すと、上方向へ首ふりが始まり、約11秒で風速最大になります。約60°位置まで首ふり後、45°位置まで下降し、30°の範囲で首ふり（左右）します。

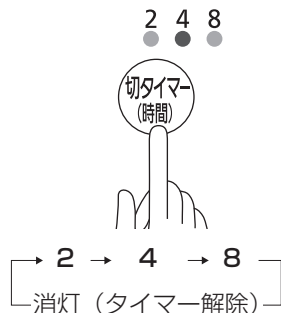


- 強制攪拌モード中は、首ふり（左右）ランプは全て点灯します。
- 強制攪拌モードでは常に首ふり（左右）になります。
- 強制攪拌モードでは風速は常に最大になります。
- 各モードで選んだ風量や首ふりの設定はそれぞれ記憶され、モードを選び直しても、切り替える前と同じ設定で運転します。
- 電源プラグを抜くと、前回使用した設定はリセットされます。
- 強制攪拌モード中は、電源 切/入ボタン、送風モードボタン、切タイマー（時間）ボタンのみ有効となります。

■ 切タイマー

切タイマーを使用すると、設定した時間後に運転を停止することができます。

- **切タイマー (時間)** ボタンを押すたびに、次のようにランプが点灯して、切タイマーがスタートします。



- 切タイマーがスタートすると、残り時間にしたがってランプが切り替わり、設定時間後に運転を停止して電源が切れます。

8 → 4 → 2 → 運転停止
(ランプ消灯)

■ 明るさの調節

就寝時などに、操作部のランプの明るさを減少させることができます。

- 運転中に**送風モード**ボタンを2秒以上長押しすると、ランプの明るさが減少します。



- 再度**送風モード**ボタンを2秒以上長押しすると、ランプの明るさは元に戻ります。
- **電源 切/入**ボタンまたはリモコンの**電源**ボタンで電源を切っても、明るさの設定は記憶されます。電源プラグを抜くと、明るさの設定はリセットされます。
- リモコンでは明るさの調節はできません。

お手入れ

ほこりなどが付いたまま使用すると、故障の原因になります。汚れぐあいを見て、定期的にお手入れしてください。



警告

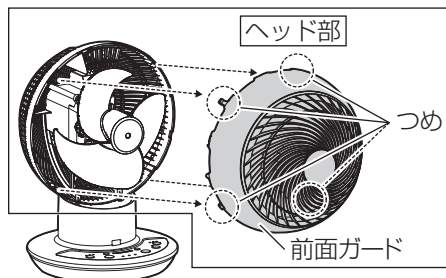
- お手入れするときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用直後はモーターが熱くなっています。冷えたことを確認してからお手入れしてください。

- お手入れに、シンナー・アルコール・ベンジン・アルカリ性洗剤・漂白剤などを使用しないでください。変色・変形・変質・破損・故障の原因になります。

■ 本体内側

1 前面ガードを外す

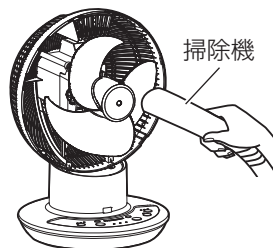
- ・ 前面ガード上2か所のつめを押し込んで外し、次に下2か所のつめを内側に押し込んで外します。



- ・ 前面ガードの脱着が行いにくい場合、ヘッド部を少し上に向けた後、脱着を行ってください。

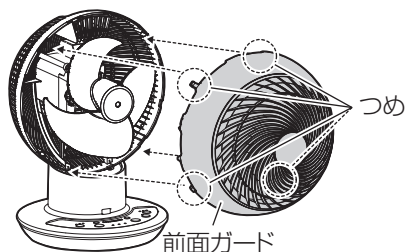
2 掃除する

- ・ 掃除機などでごみを取り除いてください。
- ・ 掃除機で取り切れないところは、柔らかい布などで拭いてください。



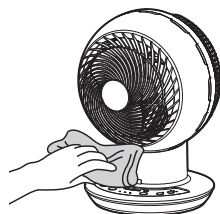
3 前面ガードを取り付ける

- ・ 前面ガード下2か所のつめを同時に押し込み、次に上2か所のつめをパチンとはまるまで押し込んでください。



■ 本体外側

- ・ 柔らかい布でから拭きしてください。汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。



保管のしかた

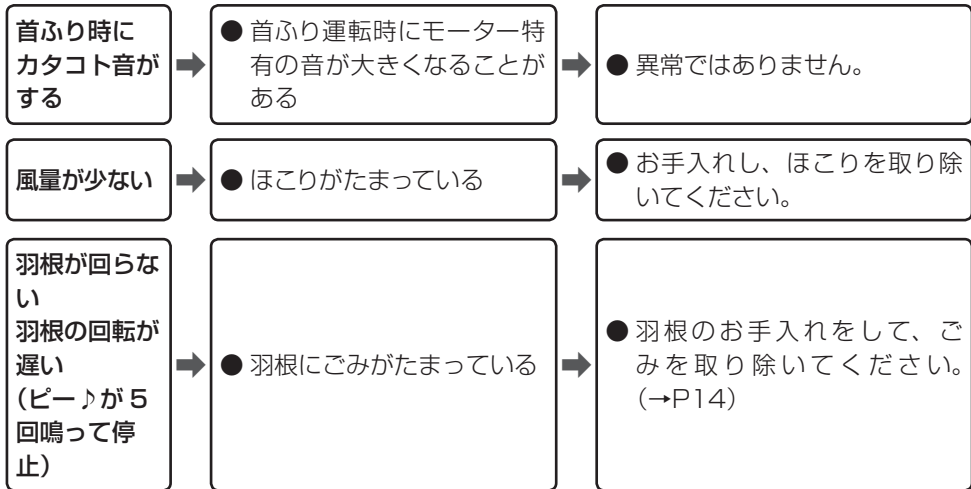
- ・長期間使用しない場合は、本体にポリ袋などをかぶせて、直射日光の当たらない湿気の少ない場所へ保管してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	考えられる原因	処置
運転しない	● 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。
首ふりが止まらない	● 強制攪拌モードで運転している	● 強制攪拌モードでは、自動的に首ふり（左右）が30°になります。（→P12）
首ふり（上下）が動かない 異音がある	● 手で首ふり（上下）の角度を変えた	● 首ふり範囲の調整のため、上端または下端で数秒間停止し、音がすることがありますが、異常ではありません。
リモコンで操作できない	● 電池が消耗している	● 電池を交換してください。
	● リモコン受光部とリモコンの間に障害物がある	● 障害物を取り除いてください。
	● リモコンが正しい方向を向いていない	● 5m以内の距離で、リモコンの発光部を本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。
運転音が大きい	● 設置が悪くがたついている	● 水平で安定した場所に設置してください。（→P7）
	● 前面ガードがはまっていない	● 前面ガードを正しく取り付けてください。

故障かな？と思ったら つづき



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコールへお問い合わせください。



警告

● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

長期使用製品について

設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る原因になります。

使用中に以下のような症状が見られた場合は、

- 電源スイッチを押しても何も反応しない
- 羽根が回るときに異常な音がる
- 羽根が回るときにスピードが不規則に変化する
- 電源コードが折れ曲がったり、破損したりしている
- 電源コードに触れると電源が切れたり入ったりする
- 焦げたようなにおいがする



使用中止

すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

※ この製品の設計上の標準使用期間は、製品本体に表示してあります。

■ 設計上の標準使用期間について

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間を、製品本体に表示してあります。

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置	本書に基づく設置
負荷条件	本製品の最大定格での運転	
想定時間	運転時間	8h/日
	運転回数	5回/日
	運転日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年



注意

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。表記の標準使用期間に満たないときでも、上記のような異常が見られたときには、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

仕様

電源電圧	AC 100V
電源周波数	50 / 60Hz
消費電力	35W
適用床面積（目安）	30畳
コード長さ	約1.4m
製品寸法	幅260×奥行260×高さ362 mm（電源コード含まず）
製品質量	約1.9kg

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ 適用床面積は目安です。室温などの環境や建物の構造によっても異なります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

サーキュレーターアイ PCF-SDC18T

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より：1年間
お客様	お名前	※ 販売店 住所・店名
	ご住所 〒 電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご購入や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください